



学校だより

# わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

No.31

令和3年3月1日

## 感謝

## 6年生を送る会

2月24日(水)2.3限目に、6年生を送る会を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、各学年の発表を入れ替え制で時間を決めて行いました。また、6年生保護者の参観を中止させていただきました。内容の変更はありましたが、みんなが一生懸命取り組み、心温まる送る会をつくり上げることができました。特に5年生は、6年生に感謝の気持ちを伝えるために、計画から準備、運営を立派にやり遂げてくれました。

### 【各学年からの出し物】

学年発表は、1年生：合唱「ありがとうの花」、2年生：合奏・合唱「こぐまの2月」、ダンス「ジャンボリーミッキー」、3年生：組体操、4年生：合奏「スーパーカリフラジスティク エクスペリアリドージャズ」を行いました。5年生は6年生の入場時に「白日」を演奏しました。どの学年もしっかり練習ができていて、心がこもったすばらしい発表でした。

### 【6年生からの出し物】

お礼に6年生から、合奏「HELLO」の発表と、ぞうきんのプレゼントがありました。

### 【キャンドルセレモニー】

5年生が6年生から「協力の火」、「絆の火」、「責任の火」をしっかり受け継ぎ、若松小学校をさらによくしていくことを誓いました。

そして、6年生が、5年生が花のアーチでつくった道を通して退場していきました。6年生の皆さんありがとう。中学校へ行ってがんばってください。



入場&5年生



1年生



2年生



3年生



4年生



6年生



キャンドルセレモニー



退場

# 6年生 中学校の先生による出前授業

2月24日(水)5限目に、千代崎中学校の山田先生、大木中学校の滝沢先生に来校いただき、出前授業を行いました。千代崎中学校へ進む児童が集まった体育館では、はじめに、日課、自転車通学、服装などについて、わかりやすく説明していただきました。その後、集団行動について体育の授業を受けました。きびきびと行動していました。



大木中学校へ進む児童が集まった理科室では、「水を電気で分解しよう」をテーマにした理科の授業を受けました。プロジェクターを使って、ていねいに説明していただき、子どもたちも集中して実験に取り組んでいました。



中学校へ進むことは不安もありますが、新しい出会いがあります。大きな夢と希望をもって進んでほしいと思います。

## 第6回学校運営協議会を開催しました

2月26日(金)、第6回学校運営協議会を開催しました。学校関係者評価の結果をもとに、令和2年度の総括、令和3年度に向けて話し合いを行いました。主な内容は次のとおりです。

◇10年間の統計をとると、ラジオ体操の参加率は年々減少してきているのがわかる。学校の協力を得ながら対策を立てていきたい。

◇ICTを得意とする人とそうでない人がいるのではないかと。どのような状況か教えてほしい。→レベルに応じた使い方ができればいい。使っているうちにどんどん慣れていく。資料を拡大したり、動画を見られたりできるのが便利である。「まずは使ってみる」という姿勢が大事である。



◇コロナ渦で授業の進捗状況はどうか。→月曜日(クラブ・委員会のない週)は、6限授業(4・5・6年)にしたり、家でできることと学校でできることを分けたりして、時間確保に努めている。今のところ、積み残しはない。

◇10年近く委員をしているが、全国学力学習状況調査、みえスタディチェックの結果が平均点を超えている。先生方の努力のおかげと感じる。来校したときに、子どもたちからあいさつの声が飛んできた。大人からの声がけや地域の中でも盛り上げていくことが大事である。

◇道草をしている子や飛び出しをしている子を見かける。交通安全教育を進めてほしい。

◇とてもあいさつができるようになってきているが、なかには何も言わない子もいる。声をかけると、不審な目で見られることがある。→学校だけでなく、地域の人にもあいさつすることの大切さを指導している。「あいさつすると気持ちいい」「あいさつしないと恥ずかしい」と感じないと、自分からできないのではないだろうか。

◇若松では大事に育ててもらっているが、私の子どもは中学校で大木と千代崎にわかれるのを嫌がっていた。→わかれるのを寂しく思ったり、不安に思ったりする子もいる。どこでも自分の思いを出せるようになってほしいと願う。「自ら動く」を大事にしている。

◇不登校対策はその子に応じた対応を行い、専門機関と連携しながら組織的に取り組んでいく。

【安藤CSコーディネーターより】

若松の学校運営協議会の雰囲気が良い。先生方も参加し、コミュニティスクールの大切さが浸透している。熟議されたことが学校運営に反映されている。そのような方向性が見える。